

法蔵館書店ニュース 6月

目次

話題の本	P1	特集1:「マンダラ」ってなに?	P16~17
法蔵館新刊案内	P2~6	特集2:外国人観光客へのおすすめ本	P18
法蔵館重版案内	P6~7	お知らせ	P19
法蔵館刊行予定案内	P7~8	法蔵館書店ベスト10	
法蔵館書店のおすすめ本	P8~15	メール配信サービスご案内	P20

★お知らせ★ 6、7月の書店休業日

6月のお休み: 2日・9日・16日・23日・30日

7月のお休み: 7日・14日・21日・28日

話題の本

●図書新聞(2024/5/18) ●ちえうみPlus(2024/4/25)

『宮沢賢治の仏教思想—信仰・理想・家族』

牧野 静著・四六判・250頁・3,300円

ISBN:978-4-8318-5581-7

●図書新聞(2024/5/18)

●図書新聞[本が好き! コラボ企画](2024/5/4)

『古墳と壁画の考古学—キトラ・高松塚古墳』

泉 武・長谷川 透著・四六判・234頁・2,200円

ISBN:978-4-8318-7769-7

●神社新報(2024/5/13)

『維新期天皇祭祀の研究』【法蔵館文庫】

武田秀章著・文庫判・462頁・1,760円

ISBN:978-4-8318-2660-2

●南御堂 5月号(2024/5/1)

『親鸞 左訓・字訓・語訓辞典』

田代俊孝編・四六判・218頁・3,300円

ISBN:978-4-8318-7027-8 **3刷**

●中外日報(2024/4/26)

『近代教育学と浄土真宗』

一人間・教育・宗教の根本問題を問う

浄土真宗的教育人間学』

川村寛昭著・A5判・301頁・7,700円

ISBN:978-4-8318-5582-4

●佛教タイムス(2024/4/25)

『仏教儀礼の音曲とことば』

—中世の〈声〉を聴く』

柴 佳世乃著・A5判・784頁・9,900円

ISBN:978-4-8318-6283-9

●美術の窓 5月号(2024/4/19)

●中外日報(2024/4/19)

『中国道教像研究』

齋藤龍一著・B5判・294頁・11,000円

ISBN:978-4-8318-6333-1

●中日新聞[アルプス版](2024/4/19)

●信濃毎日新聞[飯田地方版](2024/4/17)

『木賊』

望月文子:文・熊谷博人:絵・B5判・32頁

1,320円・ISBN:978-4-8318-5653-1

●JTFジャーナル(<https://webjournal.jtf.jp/>)

リレー連載「私の一冊」(2024/4/9)

『世界文学としての方丈記』

【日文研叢書60】

ブラダン・ゴウランガ・チャラン著・四六判

360頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-7756-7

祝
受賞!

井川祐覚先生の著書

『近代日本の仏教と福祉—公共性と社会倫理の視点から』(法蔵館刊)

第42回 社会事業史文献賞を受賞されました。

※詳しくは19ページ

法蔵館文庫

◆馮道——乱世の宰相

【中国史】

礪波 護著・文庫判・320頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2667-1

五代十国時代、五王朝、十一人の皇帝に仕え、二十余年りも宰相をつとめた希代の政治家・馮道。その生の軌跡を鮮やかに描きあげる。

■目次

はじめに

一 唐朝の崩壊

二 盧龍軍の劉守光

三 宦官の張承業

四 父の死き

五 宰相

六 後唐末帝への勸進

七 石敬瑭

八 耶律德光

九 長樂老自叙

ほか

ためし読み



◆忘れられた仏教天文学

【近代仏教】

—— 一九世紀の日本における仏教世界像

岡田正彦著・文庫判・352頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2668-8

僧・円通により体系化された仏教天文学「梵曆」。西洋天文学の手法を用いて仏教の円盤状の世界像を実証しようとした思想活動に迫る。

■目次

序章 普門円通と「仏教天文学」

第一章 震撼する世界

第二章 「起源／本質」の探究と普遍主義のディスクリール

第三章 創られた伝統としての「須弥界」

第四章 忘れられた「仏教天文学」

ほか

ためし読み



◆増補

ゆるやかなカースト社会・中世日本

【日本史／中世史】

大山喬平著・文庫判・518頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-2669-5

第一部は日本中世の農村が位置した歴史的位相を国内外の事例から検討。第二部は黒田俊雄、三浦圭一らの業績を論じた研究者必読の書。

■目次

第一部 中世社会論へ、その展望

I ゆるやかなカースト社会—インド、そして中世日本

II 中世の日本と東アジア—朝鮮、そして中世日本

III 近衛家と南都一条院—「簡要類聚鈔」考

IV 供御人・神人・寄人—自立しなかった商人たち

ためし読み



◆ひとりふたり・——お盆を迎える

【真宗／仏教】

ためし読み



四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30部以上は1部110円、100冊以上はさらに送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

定期購読をお申込みいただくと……

優先的にいち早くお届け!

買い忘れなく安心です!

詳しくは、法蔵館書店まで。

定期購読
受付中!



《目次》

- ◎いのちの言葉
避難所のいのちのケーキー能登半島地震の被災地で …………… 奥田知志
- ◎真宗で終活!
エンディングノートを書くー生きることを考えるー …………… 小林尚樹
- ◎はてなの仏教用語 供養 …………… 木村宣彰
- ◎真宗のしきたりの不思議
友引の日に葬式や法事をしてもいい? …………… 松本智量
- ◎おうちで精進料理(夏) ピーマンとこんにゃくの炒め和え …… 西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …………… 大來尚順
- ◎お寺でヨーガ
リハビリヨーガー健やかな身体を保つ技ー …………… Yai
- ◎このお経ってどんな意味? 讃仏偈(嘆仏偈)③ …………… 三浦真証



◆都市祭礼と中世京都——表象と実像

【日本史／中世】

河内将芳著・A5判・368頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-6287-7

中世都市京都における祇園会などの祭礼の意味を、文献史料と絵画史料の双方を読み解き、互いの相違点と共通点にも注目しつつ考察する。

■目次

序にかえて

- I 戦国期祇園会のすがたをもとめて
- II 室町期祇園会のすがたをもとめて
- III 御霊祭・稲荷祭の戦国期
- IV 都市祭礼の周縁人 ほか

ためし読み



◆新装版 親鸞のダイナミズム

【仏教／真宗】

大峯 顯著・四六判・232頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-6701-8

“民族宗教”“日本教”を超えた思想家親鸞の全容を見事に解き明かし、世俗化時代の宗教再生の方途を真摯に提言した話題の書。

■目次

I

- 親 鸞 日本教を超えるダイナミズム
- 宗 教 本質と可能性を問い直す
- 生 命 仏教の立場から考える

II

- 教 親鸞が発見した真理
- 信 歎異抄の核心をさぐる ほか

ためし読み



◆高津正道の僧籍剝奪を問う

【真宗／近代】

高津正道の僧籍剝奪を問う会編・四六判・206頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-5585-8

戦前に本願寺派の僧籍を剝奪された高津正道の思想と活動を辿り、高津の僧籍剝奪という事実が現代の本願寺教団に問いかけるものを探る。

■目次

はじめに(河野 官)

- 第一章 高津正道の生涯(小武正教)
- 第二章 高津正道の僧籍剝奪(小武正教)
- 第三章 高津正道の反宗教運動(近藤俊太郎)
- 第四章 高津正道の親鸞理解(小武正教)
- 第五章 国家と本願寺教団—戦争とのかかわりの面より—(野世英水)
- 第六章 私の知る高津正道 ほか

ためし読み



◆『教行信証』からひもとく浄土真宗の教え

藤澤信照著・A5判・216頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8804-4

【仏教／真宗】

梯實圓和上(浄土真宗本願寺派勧学)の名講義録「真宗要論」をもとに、著者が丹念に咀嚼・推敲を重ねた真宗教学のダイジェスト版。

■目次

はじめに

- 第一章 「浄土真宗」という宗名があらわす意義
- 第二章 親鸞聖人の宗教観
- 第三章 親鸞聖人の仏教観(二双四重判)
- 第四章 三願真仮と三願転入
- 第五章 六三法門
- 第六章 現生正定聚 ほか

ためし読み



◆八坂神社日記 万覚日記2(安永七年～天明三年)【日本史／史料】

八坂神社文書編纂委員会編・A5判・330頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-5302-8

八坂神社所蔵の『万覚日記』。本巻には第十冊～第十五冊(安永七年〔1778〕正月～天明三年〔1783〕十二月)の翻刻を収録。

■目次

凡 例

万覚日記十 安永七月～十二月

万覚日記十一 安永八年正月～十二月

万覚日記十二 安永九年正月～十二月

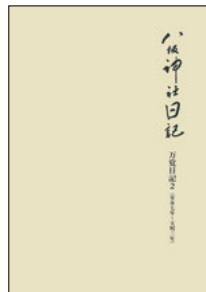
万覚日記十三 安永十年(天明元年)正月～十二月

万覚日記十四 天明二年正月～十二月

万覚日記十五 天明三年正月～十二月

解題(下坂 守)

ためし読み



◆本法寺蔵 法華経曼荼羅図

——法華経をめぐるイメージの世界

原口志津子著・B4判・240頁・38,500円・ISBN:978-4-8318-6382-9

富山・本法寺蔵法華経曼荼羅図の全体像と拡大図をカラーで掲載。『一遍聖絵』に匹敵する豊富な画像情報の解説を含む。

■目次

各幅解説

拡大図・本法寺法要・所蔵文書

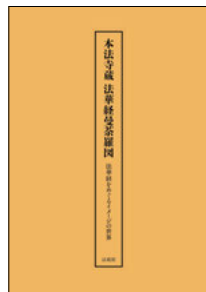
本法寺法華経曼荼羅図について

はじめに

一、作品概要

法量・員数・文化財指定／所蔵寺院・本法寺について／研究史

ためし読み



ほか

◆四国遍路——迷子のおとなたち

畠田秀峰著・A5判・412頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-5758-3

縄文の渦巻紋様のように、ぐるぐる回る四国遍路。六番札所住職が、本当の自分を見つける遍路の道について、その歴史と思想を語る。

■目次

発刊に寄せて／笠谷覚真

序

第一部 四国遍路の歴史と先達たち

第二部 通過儀礼としての四国遍路

第三部 円環型巡礼に行きつく弘法大師の思想と書

第四部 四国遍路からみた地球規模の宗教文化

ほか

ためし読み



【真言宗／民俗】

◆POD版 天台思想史

【天台史】

安藤俊雄著・A5判・432頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-9334-5

宋代以降の天台学が、浄土教や禅思想の影響を如何にうけ、発展したか。知礼の死後、元・明の時代までの天台実相論の流れを詳述する。

■目次

- 緒論 問題の所在
第一章 知禮門下の論争
第二章 禪浄・二宗との融合
第三章 従義と處元
第四章 禪の實踐と浄土信仰 ほか

ためし読み



◆POD版 維摩経の思想的研究

【経典／聖典】

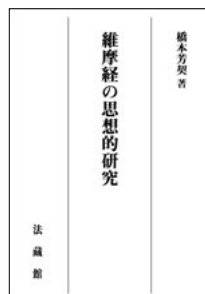
橋本芳契著・A5判・514頁・7,700円・ISBN:978-4-8318-9335-2

維摩経研究は昭和40年当時禅宗が主であったが、本書は天台、法相など各宗から研究を進め特に浄土教との関係を学的に解明している。

■目次

- 序 宮本正尊
自序
第一編 維摩経の本義とその発達
第一章 緒論
第二章 維摩経の本質 ほか

ためし読み



POD版

※お取り扱いにはAmazon・三省堂書店オンデマンド・楽天のみ。直接各サイトにてご注文下さい。

法蔵館重版案内

◆風になってください

【エッセイ／福祉】

11刷

——視覚障がい者からのメッセージ

松永信也著・A5判・141頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-5613-5

視覚を失った著者が、見えなくなって初めて見えてきた世界とは。健常者と視覚障がい者が共に歩む社会を願う著者の心暖まるエッセイ。

■目次

- 序章 海に落ちる夕日《目が見えなくなって》
1章 なぜサングラスをかけてるの?《子供と語る》
2章 道先案内演奏会《白杖とともに》
3章 さりげなく《ことば》
4章 キンモクセイ《季節のかおり》 ほか



◆パーリ語文法——仏典の用例に学ぶ

【語学／インド学／仏教学】

3刷

シヨバ・ラニ・ダシュ著・A5判・328頁・4,400円・ISBN: 978-4-8318-7735-2

最古のパーリ語文典『カッチャーヤナ』に基づく解説と仏典由来の豊富な文例。初学者から上級者まで実践に役立つ文法基礎30課。

■目次

推薦の辞 [藤田宏達]

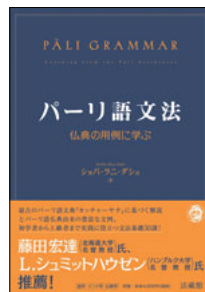
Foreword [Lambert Schmithausen]

はじめに

第1課 パーリ語の紹介；文字と発音

第2課 連声法 (sandhi) (1)

第3課 連声法 (sandhi) (2) ほか



◆戒のある暮らし

——仏教の自分貢献マニュアル

【仏教】

2刷

齊藤隆信著・A5判・200頁・2,200円・ISBN: 978-4-8318-2461-5

仏教の戒は仏道の基盤であり、日常生活の手本となる教え。転ばぬ先の杖として暮らしを支えてくれる戒を知り、実践するための入門書。

■目次

はしがき

第一章 仏教と戒

第二章 三聚淨戒

第三章 戒を受ける・戒を持つ



法蔵館刊行予定案内

〈2024年7月 刊行予定〉

◆古代インドの神秘思想

——初期ウパニシャッドの世界

法蔵館文庫

服部正明著、赤松明彦解説・文庫判・248頁・1,210円・ISBN: 978-4-8318-2670-1

【インド哲学】

宇宙の最高実在ブラフマンと個体の本質アートマンの一致とは何か。生の根源を洞察する古代インドの叡知、神秘思想の本質を解明した最良のインド思想入門。

◆増補 戦国史をみる目

法蔵館文庫

藤木久志著、稲葉継陽解説・文庫判・432頁・1,650円・ISBN: 978-4-8318-2671-8

【日本史／戦国】

斬新な戦国時代像を描き、後進に多大な影響を与えた歴史家・藤木久志。その歴史観と学問・思考の精髓を明快に示した論考群を収録。

◆念仏往生の教え【基礎から学ぶ浄土真宗2】

——南無阿弥陀仏とは何か

内藤知康著・A5判・212頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7932-5

【仏教／真宗】

信心と利益【基礎から学ぶ浄土真宗3】

——救いのよろこび

内藤知康著・A5判・206頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-7933-2

【仏教／真宗】

好評の人気授業の書籍化、第2弾と第3弾。真宗学の第一人者が浄土真宗の教義を理路整然とわかりやすく語る。浄土真宗を学ぶための決定版！

◆親鸞教義とその展開 上・下

内藤知康著・A5判・予計650頁・9,900円・ISBN:978-4-8318-7938-7【分売不可】

【仏教／真宗】

『教行信証』や、親鸞教義と親鸞以降の教学の問題を究明した論文ほか。聖教を根拠とした論理的論考を展開する真宗学の第一人者の論文を集成。

◆絶望のトリセツ——人生の危機をのりきる方法

根本一徹・川本佳苗著・四六判・176頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-2462-2【仏教／社会福祉】

「だれも死なせねえ!」。のべ2万人の自殺志願者を、とことんまで対話することにより救ってきた禅僧が語りかける、死にたくなるほどの危機的状況をのりきる方法。

◆日本仏教を変えた 親鸞の独自性

——『教行信証』と『選択集』の比較から見えてきた、念仏の真価

根津 茂著・A5判・434頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8801-3

【真宗／浄土宗】

「ただ念仏」の教えがいかに画期的であり、どこまでが法然の思想でどこからが親鸞独自の展開なのか、その真相に迫る！

法蔵館書店のおすすめ本

◆真宗かるた

真宗大谷派大阪教区出版会議編

箱=縦22.8cm×横11.3cm

(絵札=縦14.7cm×横10.4cm/字札=縦10.5cm×横7.4cm)

1,750円〈真宗大谷派大阪教務所〉

遊びながら親鸞聖人のご生涯に親しんでいただけるかるた。札は大きいサイズで取りやすく、小さい子も大きい子と一緒に遊べます。



◆近世の楽人集団と雅楽文化

山田淳平著・A5判・344頁・11,000円〈吉川弘文館〉

宮廷社会で生まれ、近世に至り広く受容されるようになった雅楽は、徳川幕府の庇護のもと楽人集団が組織された。朝廷・幕府・寺社を視野に収めて楽人への支配関係、身分、参勤形態などを検討。彼らと素人門弟との関係も探る。

■目次

- 序 章 近世雅楽史の課題
- 第一部 楽人集団の構造
- 第二部 雅楽普及の構造
- 第三部 雅楽をめぐる文化構造
- 終 章 近世雅楽界の構造



◆正信偈にきく 南無阿弥陀仏のころろ(下)

廣瀬 惺著・A5判・152頁・550円〈難波別院〉

2018年4月から4年にわたり、「正信偈に学ぶ」と題して『南御堂』紙で連載されたコラムが、加筆修正を加えて刊行されました。下巻には依釈分(七高僧の教えの意が歌われている部分)を収録。

■目次

- 印度西天之論家 中夏日域之高僧
- 顕大聖興世正意 明如来本誓応機
- ・七祖の伝統相承
- ・「興出世」について
- ・我が身をとおす
- ・「といえり」の一言 ほか



◆図説 ここが知りたかった! 法然と極楽浄土

林田康順監修・四六判・204頁・1,925円〈青春出版社〉

日本仏教に革命を起こした浄土宗の開祖・法然。末法の世を照らす阿弥陀仏の救いの教えとは! 地獄とは、極楽とは。法然の生涯と教えの中に浄土への道しるべがあった。

2024年は浄土宗開宗850年にあたります。

■目次

- 第一章 万人救済の道
- 第二章 念仏の広まり
- 第三章 専修念仏の教え
- 第四章 浄土思想と地獄・極楽
- 第五章 極楽往生への道しるべ



◆僧侶が起つ

——八代 郡築小作争議を主導した男・田辺義道

荒牧邦三著・新書判・190頁・1,210円〈熊本日日新聞社〉

衆生の済度は仏徒の本分——。大正末期から昭和の初め、熊本県南部に位置する八代・郡築干拓を舞台に繰り広げられた農民闘争の全容と、争議を主導した僧侶・田辺義道の奮闘の物語。

■目次

- 第1章 争議前夜
- 第2章 第一次紛争勃発
- 第3章 第二次紛争勃発
- 第4章 破門通告の乗り越え
- 第5章 衆生に功德を施す
- 終章 進取の気性、豊かな干拓地



◆おたずねします。

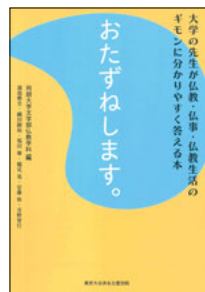
——大学の先生が仏教・仏事・仏教生活のギモンに分かりやすく答える本

蒲池勢至・織田顕祐・福田 琢・鶴見 晃・安藤 弥・市野智行著
B6判・70頁・550円〈真宗大谷派名古屋別院〉

東別院にお参りされた方から寄せられた様々な質問に、同朋大学の仏教学・真宗学の先生が分かりやすくお答えします。「浄土真宗って他宗と何が違うの?」「極楽を見てみたい。どうすればいいですか?」など、生活に根差した素朴なギモンを通して、改めて仏教を学んでみませんか?

■目次

- I 仏教のギモン
- II 仏事・仏教生活のギモン ほか



◆高楠順次郎——世界に挑んだ仏教学者

碧海寿広著・四六判・200頁・1,980円〈吉川弘文館〉

南アジアでの仏典調査の先駆者で、武蔵野女子学院の創始者。『大正新脩大藏經』の編纂や、教育者としての実績を描く人格者の生涯。

■目次

- 第一章 改革する学生たち
- 第二章 世界の日本人
- 第三章 学術としての仏教
- 第四章 教育事業と芸術活動
- 第五章 「新文化」の創造



◆密教の〈ころ〉

中村公昭著・四六判・206頁・1,980円〈春秋社〉

澁瀬と嬉しく今を生きるために弘法大師空海の教えと深くつながる「自身即仏」の自覚と、調和を愛し思いやりに満ちた密教のころを、一年を通して切々と語る仏教エッセイ。

■目次

I

- 睦月の章 嬉しく楽しい言葉を発する
- 如月の章 成就と「熏習」ということ
- 弥生の章 密教の地鎮祭
- 卯月の章 心の焦点を合わせる ほか



ちくま新書 179

◆道鏡——悪僧と呼ばれた男の真実

寺西貞弘著・新書判・214頁・968円〈筑摩書房〉

称徳天皇に重用された奈良時代の僧侶、道鏡は本当に女帝に取り入り皇位さえうかがう野心家だったのか。様々な謎に包まれ悪評にまみれた時代の寵児の実像に迫る。同衾伝説、皇位篡奪の野心……様々な謎につつまれた僧のほんとうの姿とは？

■目次

- 第一章 うわさの道鏡
- 第二章 仏教との出会い
- 第三章 道鏡と律令国家
- 第四章 称徳朝政治と道鏡
- 第五章 称徳天皇の崩御と道鏡の左遷



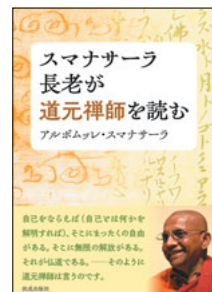
◆スマナサーラ長老が道元禅師を読む

アルボムツレ・スマナサーラ著・四六判・189頁・1,650円〈佼成出版社〉

鎌倉仏教を代表する祖師の一人、道元禅師(1200-1253)の著作をスリランカ上座仏教の長老が独自の視点で読み解き、道元思想がブッダ(釈尊)の教えに直結するものであることを明らかにする。

■目次

- 1 仏教そのものを要約したエッセンス
- 2 人間はもとより奴隷になりたがる
- 3 「自己をならう」とは自己を解明すること
- 4 パーリ經典と「自己をならう」
- 5 暮らしの中で自己をならう
- 6 「自己」を忘れる 方法に証せられる ほか



◆ブッダの教え 見るだけノート

——人生のあらゆる悩みを2時間で解決できる!

大愚元勝監修・A5判・175頁・1,620円〈宝島社〉

「幸福のカギを握るのはお金ではない」「全員と仲良くなくていい」「相手ではなく、自分のために生きる」など、人生のさまざまな悩みに答えてくれるブッダの教え。監修はYouTubeで人気の僧侶・大愚元勝(チャンネル登録者数64万人超)。この一冊で人生のあらゆる悩みを2時間で解決します。

■目次

- Chapter1 お金・仕事の教え
- Chapter2 人間関係の教え
- Chapter3 将来・生き方の教え
- Chapter4 体と心の健康の教え



新潮新書 1037

◆苦しくて切ないすべての人たちへ

南 直哉著・新書判・238頁・902円〈新潮社〉

恐山の禅僧が、生老病死に本音で寄り添い、「仕方なく、適当に」「万事を休息せよ」「死んだ後のことは放っておけ」など、心の重荷を軽くする人生訓を伝える。修行時代のことやよい宗教・わるい宗教についても語る。

■目次

- 第1章 恐山夜話
- 第2章 禅僧の修行時代
- 第3章 お坊さんらしくない。
- 第4章 よい宗教、わるい宗教 ほか



◆ヒトは何処からきて何処へ行くのか

——死生観の歴史から学ぶ

木崎馨山著・四六判・359頁・1,980円〈幻冬舎〉

死を考えることは、より良く生きること
Z世代が混沌とした社会で生き抜くためには、“生きる上での拠り所”をもつことが必要だ——。1300年以上の歴史をもつ那谷寺(石川・加賀)の前住職が、古代日本人の死生観や自然観を膨大な文献から読み解き、若者たちへ語りかける。

■目次

- | | |
|----------|--------------|
| 那谷寺について | 海外交流があった弥生文明 |
| 古代の人類と来世 | 大王と古墳時代 |
| 縄文時代の信仰 | 日本への仏教伝来 |
| 縄文人の死生観 | 白の信仰と白山 ほか |



◆草木成仏の思想——安然と日本人の自然観

末木文美土著・四六判・268頁・2,970円〈サンガ新社〉

「草木も成仏する」という草木成仏論は、平安時代の天台僧・安然が中国天台の著作を大胆に解釈することで生まれたものだった。安然の思想を検証し、日本人の自然観の本質に迫る。安然「斟定草木成仏私記」現代語訳も収録。

■目次

- 第1章 「山川草木」と「草木国土」
- 第2章 草木は自ら発心・成仏するか—安然『斟定草木成仏私記』の世界
- 第3章 草木成仏説の基礎付け—安然の密教思想と草木成仏
- 第4章 日本人の自然観と草木成仏
- 第5章 自然と災害を考える ほか



◆新版 日本の神様と楽しく生きる

——春夏秋冬を味わい、縁起良く暮らす

平藤喜久子著・四六判・243頁・2,090円〈笠間書院〉

神様を季節ごとの行事や風物詩といっしょに紹介。行事の本来の意味、そして日本の神話や神社の祭神である神様についても、美しいイラストと分かりやすい文章で教えてください。一年を通して心豊かに、神様を身近に感じながら楽しくすごしましょう。

■目次

- 早春 太陽の神様／新年の神様／地域の神様／財と福の神様／野の神様（草の神様）／里の神様／怠け者を懲らしめる神様／蚕の神様／知恵の神様／鬼／穀物の神様／裁縫の神様／日本国の神様／温泉の神様 ほか



◆陰陽師の日本史

加門七海監修・四六判・207頁・1,320円〈宝島社〉

藤原道長、平清盛、足利義満、徳川家康……時の権力者を支えた闇の力の系譜。呪術師たち1300年の歴史。森羅万象を読み解く陰陽道の占術と呪法を徹底解説。

■目次

- 第1章 なぜ安倍晴明は最強の呪術師になったのか
- 第2章 安倍晴明と平安時代
- 第3章 安倍晴明のライバルたち
- 第4章 陰陽道でひもとく闇の日本史
- 第5章 闇の世界にアクセスする陰陽道の奥義
- 第6章 現代に受け継がれる陰陽道
- 第7章 陰陽道ゆかりの神社仏閣を巡る



ちくま新書 1794

◆隠された聖徳太子——近現代日本の偽史とオカルト文化

オリオン・クラウタウ著・新書判・272頁・1,012円(筑摩書房)

異能者？ 予言者？ キリスト教の影響を受けている？ 誰もが知る聖徳太子は、近現代このように理解されてきた。日本人が彼に求めたものの深層を読みとく。

■目次

- 序 隠されたものへの視点—偽史から聖徳太子を考える
- 第一章 一神教に染まる聖徳太子
- 第二章 乱立するマイ太子像
- 第三章 ユダヤ人論と怨霊説
- 第四章 オカルト太子の行方
- 結 隠された聖徳太子の開示



◆英国人尼僧、ティク・ナット・ハンと歩む——真実の徳を求めて

シスター アナベル・レイティ著・池田久代訳
四六判・408頁・2,950円(春秋社)

農場生まれの少女がロンドン大学を出て、満たされぬ思いを抱えながら世界各地を放浪、仏教に魅せられ、修行や文化の違いに悩みつつも、最高の師となる禅僧ティク・ナット・ハンや盟友シスター・チャンコンらと出会って、ついに自分の道を見いだした魂の軌跡。

■目次

- 第1部 故郷を遠く離れて
- 第2部 放浪の果ての出会い
- 第3部 師とともに歩む



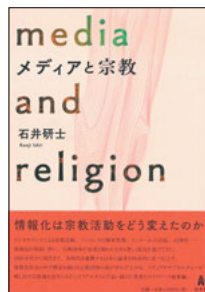
◆メディアと宗教

石井研士著・A5判・398頁・4,400円(弘文堂)

ラジオ、テレビ、インターネット、AI……。情報化は宗教活動をどう変えたのか。1980年代から現代まで、各時代を象徴する15本の論考を時系列に並べ、情報化社会の中で模索を続ける宗教団体の姿を浮かび上がらせる。

■目次

- 宗教団体とマスメディア
- 新宗教とメディア布教
- ニューメディアと寺檀関係
- テレヴァンジェリストと浸透するニューメディア
- オウム真理教事件とメディア報道 ほか



◆基礎ゼミ 宗教学〔第2版〕

大谷栄一・川又俊則・猪瀬優理編・A5判・188頁・2,090円〈世界思想社〉

宗教って何？ 宗教を学ぶ必要があるの？ 本書を読めば、宗教が私たちの生活や社会と深くかかわっていることがわかります。自分で考えるのはもちろん、仲間と一緒に考えることも、筆者の考察から学ぶこともできる、体験的入門書！

■目次

- 序 章 近世音楽史の課題
- 第一部 楽人集団の構造
- 第二部 音楽普及の構造
- 第三部 音楽をめぐる文化構造
- 終 章 近世音楽界の構造



◆信道 2022年度

——「はじめての『教行信証』(二)」

真宗大谷派名古屋別院編・A5判・205頁・1,800円〈真宗大谷派名古屋別院〉

「信道講座」年間講義録。

■目次

- 阿闍世のすくい① 尾畑文正
- 阿闍世のすくい② 尾畑文正
- 阿闍世のすくい③ 尾畑文正
- 真実証—必至滅度の願— 三明智彰
- 真実証—浄土の功德— 難波教行 ほか



法藏館書店新着雑誌案内

◆同朋 6月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

- ◎インタビュー 大田ステファニー・欽人さん(小説家)
能天気な暮らしは ほかのやつにまかせてたって感じで。
- ◎特集 デザインに映る私たち
- 連載
・書いて学ぶ 親鸞のことば 歎異抄……鶴見 晃
・仏教ゆかりの生きもの図鑑……
文：福田 琢 画：大島加奈子 ほか

◆大乘 6月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

■目次

- ・ご機宜！ お寺の掲示板……江田智昭
- ・結婚してお坊さんになりました
「カルチャーギャップ」……前田純代
- ・なほど仏教ライフ 「目覚める」……西原祐治
- ・お坊さん み跡をめぐる Part2
「親鸞聖人有乳山奮跡」 ほか

特集1 「マンドラ」ってなに？

★ マンドラの新しい見方

森 雅秀著・A5判・262頁・3,960円
ISBN:978-4-8318-6355-2〈法蔵館〉

新刊

「何がマンドラか」という視点に立ち、日本で展開した浄土教曼荼羅や参詣曼荼羅等のあり方、思想を探索しマンドラの意義を再考する。



◆インド・チベット曼荼羅の研究

田中公明著・B5判・303頁・19,800円・ISBN:978-4-8318-7619-5〈法蔵館〉

◆続 インド・チベット曼荼羅の研究

田中公明著・B5判・275頁・22,000円・ISBN:978-4-8318-7751-2〈法蔵館〉

チベット仏教の曼荼羅の発生と展開を、原典、作品の両面から厳密に解析した密教美術研究の最先端。チベット仏教圏で発見された古作の曼荼羅と、現在も行われている砂曼荼羅製作の実態の調査から、その図像解析と成立年代を解明する。



◆富山・本法寺蔵 法華経曼荼羅図の研究

原口志津子著・A5判・441頁・16,500円・ISBN:978-4-8318-6381-2〈法蔵館〉

『一遍聖絵』に匹敵する豊富な画像情報を含みながらも、研究が充分になされていなかった重要文化財の図像を読み解いた意欲的論考。



◆聖地の想像力

——参詣曼荼羅を読む

西山 克著・A5判・256頁・3,520円・ISBN:978-4-8318-7489-4〈法蔵館〉

中近世の人々にとって聖地とは何だったのか。善光寺などの五大曼荼羅を読み解き、その実像に迫る。

色鮮やかで美しいマンダラ。ちょっと前に「マンダラぬり絵」がブームになったことご存じですか？それはさておき、マンダラの世界は一言では言い表せない奥深いものです。種類も国も様々です。その世界に少し迫ってみませんか？

◆両界曼荼羅の源流

田中公明著・四六判・295頁・3,300円〈春秋社〉

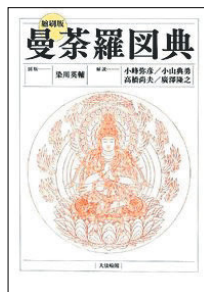
胎蔵・金剛界の両界曼荼羅の成立過程をインドに遡って解明。
あわせてインドの後期密教や日本で独自に発達した浄土や神道系の曼荼羅も紹介した、格好の曼荼羅の入門書。



◆縮刷版 曼荼羅図典

染川英輔図版、小峰彌彦・小山典勇・高橋尚夫解説
A5判・424頁・7,700円〈大法輪閣〉

密教の教えを美しく図示した両部（胎蔵と金剛界）曼荼羅。そこに描かれた全尊の的確な線描による白描画とともに、各尊ごとに種字・印相・三昧耶形を図示し、密号・真言・解説を付したほか、「曼荼羅とは何か」の概説、胎蔵曼荼羅十二院、金剛界曼荼羅九会の解説も加えた、「曼荼羅」理解必携の書。



角川ソフィア文庫

◆マンダラを生きる

正木 晃著・文庫判・256頁・1,100円〈KADOKAWA〉

密教が創造した究極のアイテム・マンダラ。日本では空海が唐から持ち帰って以来、自然観を反映した多種多様なものが誕生した。緑豊かな寺社の風景や鹿の姿が描かれたほか、最近では受精卵を中心とする生命の繋がりを表現する「生命誌マンダラ」など、可能性はさらに広がっている。



◆原色 阿弥陀経マンダラ

図像解説と経文

稲垣久雄著・B5判・118頁・3,737円〈永田文昌堂〉

浄土の荘厳と阿弥陀経の世界を極彩色の絵でみる。阿弥陀仏を中心とする浄土教美術の図像を分析紹介。(和英対訳)



特集2 外国人観光客への おすすめ本

インバウンドの影響で法蔵館書店にも大勢の外国人のお客様がご来店されるようになりました。英会話ができないスタッフはあたふた(汗)
それでも法蔵館書店ならではのおすすめ本があります!!



◆カンタン英語で浄土真宗入門

大來尚順著・四六判・126頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2502-5

難しい仏教用語も英語で説明するとスッと理解できる。

「正信念仏偈」の日英対訳も収録! もとハーバード大学研究員のお坊さんが教える、新感覚仏教入門書。〈法蔵館〉 **3刷**

◆えほん 般若心経

前田まゆみ:文・絵・B5変判・32頁・1,980円

短くても奥深いお経をやさしいことばと美しい絵でつづる珠玉の絵本。一般の読者に向けて(とくに高齢者)、般若心経の「空」(くう)の考え方をわかりやすく説きます。絵本の題材として画期的な発想の、心に沁みるメッセージ。英文付き。 〈春秋社〉



◆清水寺のみほとけ 参拝ガイド[英訳付き]

清水寺監修、根立研介編集・執筆、坂井輝久執筆・B5変判・103頁・2,200円

古来観音霊場として栄えた清水寺は、実は優れた古仏や美仏の宝庫。「舞台」や「滝」が有名なあまり、従来注目されることが少なかった仏像を伽藍ごとに英訳付きで紹介。ご利益や堂塔の来歴などもわかる見どころ満載ガイド。 〈東京美術〉

◆THE TALE OF GENJI AND KYOTO

——日本語と英語で知る、めぐる紫式部の京都ガイド

SUMIKO KAJIYAMA著・A5判・141頁・1,870円

『源氏物語』の世界を英語でご紹介! ゆかりの地巡りのお供に、訪日外国人向けガイドの参考書として……「日本の文化や歴史を説明したい。」そんな時にとても役立つ1冊。『源氏物語/The Tale of Genji』を通して京都を知る。 〈プレジデント社〉



お知らせ

中外日報「宗教文化講座」

法藏館書店
協賛・出店

テーマ:「未来へ伝え得るもの——先人たちの智慧に学ぶ」

第3回 9月6日(金)「一隅を照らす—落語家・まるこの仏道修行」

(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))

落語家・天台宗道心寺住職 露の団姫氏

第4回 10月4日(金)「仏教の声楽曲「天台声明」の調べ」

(しんらん交流館・大谷ホール(JR京都駅中央口から北へ徒歩10分))

天台宗三千院門跡門主 小堀光實氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業局出版事業部

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、
ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)

〒601-8004

京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL:075-682-1625 FAX:075-682-1722

Eメール:shuppan@chugainippoh.co.jp

『法藏館図書目録』 2024年版ができました!

ご入用の方は
お申しつけください。

第42回 社会事業史文献賞 受賞!

社会事業史文献賞…本学会会員の研究の奨励と質の向上を図ることを目的として1982年に創設され、同年より第1回が授与される。

◆近代日本の仏教と福祉

——公共性と社会倫理の視点から

井川裕覚著・A5判・380頁・5,500円・ISBN:978-4-8318-5578-7

独自の倫理観による福祉事業を通して、仏教は公共空間の形成にいかに関与したのか。「国家主義的」とされてきた仏教社会福祉史を「公共宗教」という視点から捉え直す。

■目次

序章 近代日本の福祉をめぐる公共空間と仏教

【第I部】子どもをめぐる社会福祉活動と宗教】

【第II部】セツルメントの発展と浄土宗社会派による

仏教社会福祉活動】 ほか

ためし読み



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(5月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	人間はなぜ争うことをやめられないのか	一楽 真講述	真宗佛光寺派	250円
2	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
3	真宗聖典〔第二版〕〈小判〉	聖典編纂室編	東本願寺出版	4,400円
4	真宗聖典〔第二版〕〈大判〉	聖典編纂室編	東本願寺出版	4,950円
5	【朝日新書935】一億三千万人のための『歎異抄』	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
6	溶け合う世界へ—南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇講述	響流書房	110円
7	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
8	真宗学講義ノート	田代俊孝講述 児玉法彰筆録 池井勝彦加筆	同朋大学田代客員 教授研究室	1,300円
9	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗Ⅳ	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会 編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
10	曇鸞『浄土論註』の新研究—真宗理解の再構築のために	市野智行編	法藏館	3,300円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。

法藏館書店 友の会会員募集中!

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会
検索




法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!